

平和ってどんなこと？



狛江第三小学校 六年二組

黒田 美喜

第一次世界大戦、第二次世界大戦、そして今でも世界のあちこちで、たくさん争いがおきています。戦争がおきるたびに、「戦争の無い世の中にはならないのかなァ。」とわたしは思います。

ところで、私達の国、日本は、今は何も戦いがおきていませんが、なぜ日本は戦争にまきこまれないのですむのでしょうか。

それは、一九四七年、五月三日に定められた、日本国憲法の中に、「政府の行為によって再び戦争のさんかがおきることはないようにする」という決まりがあるからです。

四十七年前の、第二次世界大戦では、日本の他に、いろいろな国が被害をうけ、つみもない人が、何百万、何千万ときずつき、亡くなっています。そして、戦争の

ために、平和、そして命までが、消えていきました。

日本が戦争に負けて「再び戦争をしない」とちかったのは、きっと戦争で亡くなった人達のおかげだと思います。亡くなった人達には心から感謝しなくてはいけないと思います。

わたしは戦争という言葉を知ると、中沢けいじさんがかいた、「はだしのゲン」や、「ユーカーリの木の下で」などを思い出します。読むと、戦争に対するにくしみやかなしみが伝わってきます。読むたびに、本の中に入って、そこに登場している人達に食べ物などをあげたくありません。

あのような戦争の苦しみは、体験した人しか分からないので気の毒です。

世界の平和は、世界の人達全員でつくるものです。平和をつくるために、悪いことをしている人を武器でやっつけていては、本当の平和はできません。

これからは、わたし達が国をつくっていくばんです。このようなことを守って、平和をつくっていききたいです。